

足利風 -ashikaga-fu

2015
2月号
Vol. 36



画・蓮沼ヒロ子

足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- *特集！
- *TOPICS
- *私のボランティアことはじめ
- *サークル紹介
- *インフォメーション
- *センターからのご案内

「つながりが、希望を生む」

“NPOの仕組みには、マネジメントの本質がある”と、P.ドラッカーは考えていた。～成功したNPOから企業が学ぶべきは、使命と、そのために必要なことからスタートする、という教えである。それによって組織は、活動に焦点を合わせることができる。それによって、決定的に重要な目標を実現するために必要な、特定の戦略を定義できる。そして、鍛えられた組織を創ることができる…。

NPOで働く人は、たとえ無給のボランティアであっても、ただの善意の人ではない。彼らは、己の能力を社会の役に立たせるという満足感を報酬としている。それと似た対価が、未来の企業で重要な地位を占める“知識労働者”にも必要だ。移動性と自信を帯びている彼らの“やる気”を引き起こすものは、最終的には、カネではないのだ。

未来の企業にとっての最重要なテーマは、氾濫するデータに“関連性と目的”を与え、確かな情報に転換すること。そのためには、たゆまぬ“学習”が必要不可欠である。そして、その情報を流すことよりも大事なものは、集まる場を創ることなのである。

自分自身を“場”として開き、学習回路を拓くことを志す人々とつながっていくこと。まさに、「つながりが、希望を生む」ということなのだ。



(M生)

ひと to ひとのフォーラム2014 大盛況！

12月6日(土)足利市民プラザ小ホールは350名を超える参加者で超満員となった。人権週間のイベント「ひと to ひとのフォーラム2014」は、テーマが“認知症”。長崎を舞台にした実話に基づいた映画「ペコロスの母に会いに行く」は超満員の観客の感動を呼んだ。つづいて、岩木照予さんたちのラジオ体操。そして、「つながりが希望を生



む～認知症の予防とケア～」のパネルディスカッション。認知症について、医療と介護支援の現場を知り尽くす二人・関隆郎さん(足利市医師会会長)と永島徹さん(社会福祉士事務所“風のささやき”代表)の分かり易く、そして情熱のこもった解説に聴衆は魅了された。全国レベルだとの評価も得たフォーラムは、現在そして将来も大きな地域課題である“認知症”への正しい理解と、地域で支える課題である、との認識を新たにして大好評のうちに幕を閉じた。

(鈴木光尚 記)

* ボランティアガイドって 何なに? *

～足利市観光案内人 長 太三～

平成25年8月、鏝阿寺本堂が国宝に指定され、9月には2020年の東京オリンピック開催が決定。更に、富士山と富岡製糸場がそれぞれ世界文化遺産に登録された。このことは私たち日本人に、そして足利市民に喜びと元気を与えてくれた。東京オリンピック招致運動の時には、“お・も・て・な・し”のことばが流行語になるほどで、招致決定に功を奏したようである。私たちボランティアガイドも、この“おもてなし”のこころを大切にお客さんに接している。



ガイドはお客さんと最初に出会う足利市民、市民代表の気持ちで、第1印象が肝心、と明るく出迎える。時には訪れる見知らぬ人たちと、お互いのまちの歴史や観光などについて話はずむこともある。案内がすんで、お客さんから拍手をいただくとき“ガイド冥利”を実感する。まさに、ガイドは「おもてなしのステージ」なのである。

観光案内人で組織する足利市観光ボランティアガイド協会は、平成11年に発足、今年で15年を迎えた。これまで足利学校の案内と鏝阿寺への道案内であったが、鏝阿寺本堂の国宝指定に伴い、鏝阿寺についても案内することになった。

案内にあたっては、お客さんの目的(観光のついででの立ち寄りか、歴史や文化財についての視察かなど)や案内時間などに配慮しながら、「分りやすい説明」をモットーに心掛けている。

現在、36名のガイドが活躍している。メンバーは概ね60歳以上の高齢者が多く、元・教員や会社員、公務員、主婦など様々である。

本市では、昨年より観光案内人を更に充実させるべく案内人を募集中なので、郷土の歴史文化や観光に関心のある方(市内在住者)、挑戦してみませんか。きっと、新しい発見に出会えると思いますよ。お待ちしております。

(問い合わせ・連絡先 足利市観光協会 Tel43-3000)

足利市観光ボランティアガイド協会相談役

「からふる」スタートしました！

こんにちは。私は昨年6月から 埼玉のフリースクール「りんごの木」に通い、不登校の子どもたちと過ごしています。

思い起こせば、2013年9月のフリースクール養成講座に参加し、「りんごの木で研修したらいいんじゃないですか」と声をかけていただき、あの日から『将来フリースクールをつくること！』が私の夢になりました。

…なので、「りんごの木」にはボランティアではなく、研修のつもりで通わせていただいています。ここに通う子ども達や若者達、スタッフの方々から日々教えられることが多く、「りんごの木」は私にとって『学びの宝庫』となっています。

今年度は足利で、子どもたちの学習支援として「寺子屋」や、親支援の場として「不登校を考える」企画を開設したいと試行錯誤しています。皆さん、子ども応援プロジェクト「からふる」を是非とも応援してください。宜しくお願いします。

子ども応援プロジェクト「からふる」代表 新井街栄

① インフォメーション ①

☆ NPO・ボランティア講座 『まちをデザインしよう』

日 時：平成 27年 2月 7日(土) 午後 1時 30分 ~ 4時

会 場：足利市生涯学習センター 101号室
(交流会は203号室)

内 容：【 講話 】

「デザインで館林城がよみがえる」

お話 = 田中 茂雄さん(館林城の再建をめざす会 会長)

【 交流会 】

コース別にワークショップを行い、皆さんでお茶をしながらワイワイ・ガヤガヤ話しましょう。

定 員：50名 参加費無料！

問合せ・申込み：市民生活課 TEL 20-2154 FAX 21-7266

市民活動センター TEL 44-7311 FAX 44-7312

※ 詳しくは HP をご参照ください。

☆ 平成27年度のロッカーとレターボックスの利用者募集！

※希望される団体等は、平成27年3月20日までに活動センターまで、お申し込みください。なお、申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

* センターからのご案内 *

☆みんなの広場 ~ 2月・3月のご案内 ~

* かしみ家 10% 『淡彩切り絵』展(2月2日~12日)

* 全国郷土の雛人形展(2月16日~26日)

* 東日本大震災4周年展(3月2日~12日)

~みんな同じ空の下に生きている~

* 足利風表紙原画展(3月16日~26日)

Facebook の
QR コード



☆相談室 & 講座のご案内

* 相談室 = 2・3月第1・第3水曜 午後2時~4時 ※詳しくは、別紙参照

* 講 座 = 毎月1回 午後7時~9時 ※詳しくは、別紙参照

編集後記

梅や桜の華やかさとはほど遠いザゼンソウは、開花時に熱を発し、まわりの雪をとかす。人は思いやりの言葉と行動で凍てついた心をとかすことができる。

自然も人も大地の上であたたかい春を待っている！ (すずらん)

“ 講座・相談室のご案内 ”

【相談室】

日付	相談テーマ	相談員
2/4(水)	パソコン初心者の“困った”を 優しく解決します ～その2	宮師 保さん (ぼそぼらあしかがnet.com代表)
2/18(水)	もっと知りたい！ フリースクール	新井 街栄さん (子ども応援プロジェクト「からふる」代表)
3/4(水)	被災地支援の現在とこれから	鈴木 光尚さん (「がんばろう東北！」応援プロジェクト足利風代表)
3/18(水)	わかりやすいホームページの作り方	白田 明さん (ブランドウ・アシスト代表)

時間 午後2時～午後4時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 ワーキングルーム

【講座】

日時	講座名
2/19 (木)	“まち”をユートピアに！（栃木県宇都宮市）
	お話：安藤 正知さん（まちぴあセンター長）
3/19 (木)	深谷シネマの挑戦！（埼玉県深谷市）
	お話：竹石 研二さん（深谷シネマ館長）

時間 午後7時～午後9時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 会議室

お問い合わせ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3 (☎0284-44-7311)

“ 企 画 展 の ご 案 内 ”

期間	企画展名	出展者
2/2 (月) ~2/12 (木)	かしみ家10% 『淡彩切り絵』展	八木 晃世さん
2/16(月) ~2/26 (木)	全国郷土の雛人形展	牛山 喜人さん
3/2 (月) ~3/12 (木)	東日本大震災 4 周年展 ~みんな同じ空の下に生きている~	「がんばろう東北！」 応援プロジェクト足利風
3/16 (月) ~3/26 (木)	足利風表紙原画展	蓮沼ヒロ子さん & 佐下橋伸一さん

展示会場 足利市民活動センター（旧保健所） 3階 みんなの広場
（足利市大橋町1丁目2006-3 ☎0284-44-7311）

展示時間 午前10時～午後7時

休館日 土・日・祝